

令和 2 年度「地域活性化推進研究プロジェクト」成果報告書

所属部局名	紀伊半島価値共創基幹	申請者氏名	高崎 慎太郎
研究プロジェクト名	With/After コロナの観光スタイルの実践的研究 ～わかやマイクロツーリズム「ご近所観光の楽しみ方」について～		
当初計画に対する 目標達成率	60 %	研究プロジェクト の終了時期	令和 3 年 3 月
予算配分総額	498,000 円	経費使用総額	498,000 円 (担当課で記入)

【研究プロジェクト事業の成果】※具体的に記入してください

当該プロジェクト事業の成果は下記の 2 点である。

・新型コロナウイルス感染症流行前後の消費者の観光行動・嗜好の変化の把握

和歌山市民(南海電鉄和歌山支社イベント参加者及び来場者, 和歌山大学 大学生, 和歌山市役所職員 の 18 才以上の男女)を対象に「観光意識についてのアンケート調査」を実施。配付数/回収数は 392 名、調査期間は 51 日間である。新型コロナウイルス感染症流行前後における、①「行きたい観光地の優先順位」、②「観光頻度」、③「観光のテーマ」についての変化が把握できた。

①「行きたい観光地の優先順位」…コロナウイルス感染症流行前後において、「県内」→「県外」→「市町村」→「海外」優先順位の変化は見られなかった。

②「観光頻度」…「観光頻度を減らしたい」・「変えない」の回答者は 40.21%であったが、「増やしたい」は 17.49%であり、総じて観光頻度が減ることが予想される。

③「観光のテーマ」…流行前後ともに人気が高いものから「自然観光」「温泉旅行」「グルメ」であり、回答割合においても大きな変化は見られなかった。

・冊子「ちかばめぐり」を通じた「ご近所観光」意識の普及および本市観光消費への貢献

令和 2 年 12 月 6 日 和歌山市民図書館にて実施した「体感セミナー ご近所観光の楽しみ方 in 和歌山市民図書館」において、参加者 19 名を対象に、ご近所観光を楽しむ際のポイントや視点を講義のうえ、「ちかばめぐり(試作版)」を使用したご近所観光ルート制作ワークショップを実施した。

参加者からは概ね好評を得ることができ、セミナーでは多様なご近所観光ルートが発表されるとともに、「ちかばめぐり」で推薦している「ご近所観光ルート」の発信が SNS 上で行われた。実施件数は上記セミナー参加者のうち 5 名 14 件の投稿があり、投稿内容から投稿者の平均消費額は概ね 1,400 円であった。

この点、当該プロジェクトの申請調書記載のとおり、アンケート調査(2021.6.21 実施 14 名回答)では平均消費額が 9,224 円であったが、この結果とは著しく乖離する結果となった。しかし、モニター数が少数であったことを鑑みると、この額がご近所観光における平均消費額と判断するには早計であり、「ちかばめぐり(完成版)」配布以降の冊子利用者による SNS 投稿内容を確認し、平均消費額を確認していくことといたしたい。

【当初計画段階との対比】※上記目標達成率を判断した理由等

当初実施計画では令和2年度事業は、モニター使用実験・効果測定（行先・PR実施数）・和歌山市としてのPR資源同定・市民向け冊子修正であった。これらのうち、和歌山市としてのPR資源同定以外については全て実施できたものの、モニターによるInstagram投稿を通しての地域資源のPR数が少なく、和歌山市としてPRすべき地域資源を同定するまでに至らなかった。本プロジェクトの狙いとして、「ご近所観光」を通しての観光消費向上に加え、「ご近所観光」という新しいジャンルの観光行動を通して、今までに注目されていなかった地域資源を見つけ出し、本市の観光資源としてPRしていくことも大きな狙いであったが、前述のとおりこの点が不十分な結果となったため、上記目標達成率を判断した。

【今後の展望等】

○ 研究プロジェクトの発展性（根拠に基づき記入）

本プロジェクトにおいて、「ちかばめぐり」を2000冊制作し、4/16から市庁舎や図書館・書店等に配架したが、市庁舎配架分初回100部については、1週間で90冊程度がなくなるなど、本冊子および「ご近所観光」に対する市民の方の関心は一定程度あることが見込める。（「#ちかばめぐり」でのInstagram投稿は4月26日時点では投稿数が0件であるが、現在、和歌山県下において不要不急の外出自粛が要請されている状況であるため、投稿は控えているものと思われる）

○ 外部資金等への申請実績及び今後の予定

マイクロツーリズムの推進は、和歌山市「令和3年度 予算と主要事業の概要」において、本市の主要事業として位置づけられており、当該プロジェクトにて制作された「ちかばめぐり」を活用したセミナー等を実施予定である。

○ 学内における成果の活用（予定も含む）

・令和2年度において、12月6日に当該プロジェクトにて制作した冊子「ちかばめぐり（試作版）」を用いた「体感セミナー ご近所観光の楽しみ方 in 和歌山市民図書館」を実施した。当該セミナーでは、和歌山大学経済学部 藤田准教授に講師を依頼し、19名の参加者（20名募集）があった。また、「#ちかばめぐり」でInstagramに投稿された件数は、上記セミナー参加者のうち5名14件の投稿があり、投稿内容から投稿者の平均消費額は1,400円であったことが確認できた。

令和3年度では、上記セミナーで参加者からいただいた意見を反映し改訂を行った「ちかばめぐり（完成版）」を用い、「ご近所観光」を推進するセミナーの開催を予定している。

○ 学外における成果の活用（予定も含む）

・「ちかばめぐり」の配架

配架場所…和歌山市庁舎（10F,14F,1F ロビー）

和歌山市民図書館,宮脇書店 ロイネット和歌山店

観光交流センター（JR和歌山駅地下）,和歌山市観光案内所（和歌山城）

※：和歌山市民図書館,宮脇書店 ロイネット和歌山店 には、「ご近所観光コーナー」の開設有り

和歌山市立小学校 各校に配布（4～6年生の各学級に1冊）

○ その他特筆すべき事項

特になし

【成果の外部公表の方法及び時期】

ご近所観光手引書「ちかばめぐり」…令和3年4月16日にプレスリリースを行い、本市庁舎・市民図書館・観光案内所・書店等に配架。また、和歌山市立小学校各校にて、4～6年生の各学級に1冊配架し、教諭から児童に向けての当該冊子周知を依頼。

※研究プロジェクトの内容・成果等がわかるポンチ絵（写真・挿絵など）や関係資料を添付してください。

経費等使用調査								
配分額	498,000 円		支出額	498,000 円		残額	0 円	
経費別内訳対比表								
区 分	配分額				支出額			
	内容	員数	単価 (円)	金額 (円)	内容	員数	単価 (円)	金額 (円)
印刷製本費	モニター用 「ご近所観光 の楽しみ方」 冊子 印刷・ デザイン費	300	269.5	365,200	モニター用 「ご近所観光 の楽しみ方」 冊子 印刷製 本費	300	1217	365,200
	「ご近所観光 の楽しみ方」 広報媒体「き のみなと」印 刷・デザイン 費	1100	60	132,000	「ご近所観光 の楽しみ方」 広報媒体「き のみなと」 印刷製本費	1100	60	132,000
	計			498,000				498,000
合 計	計			498,000				498,000